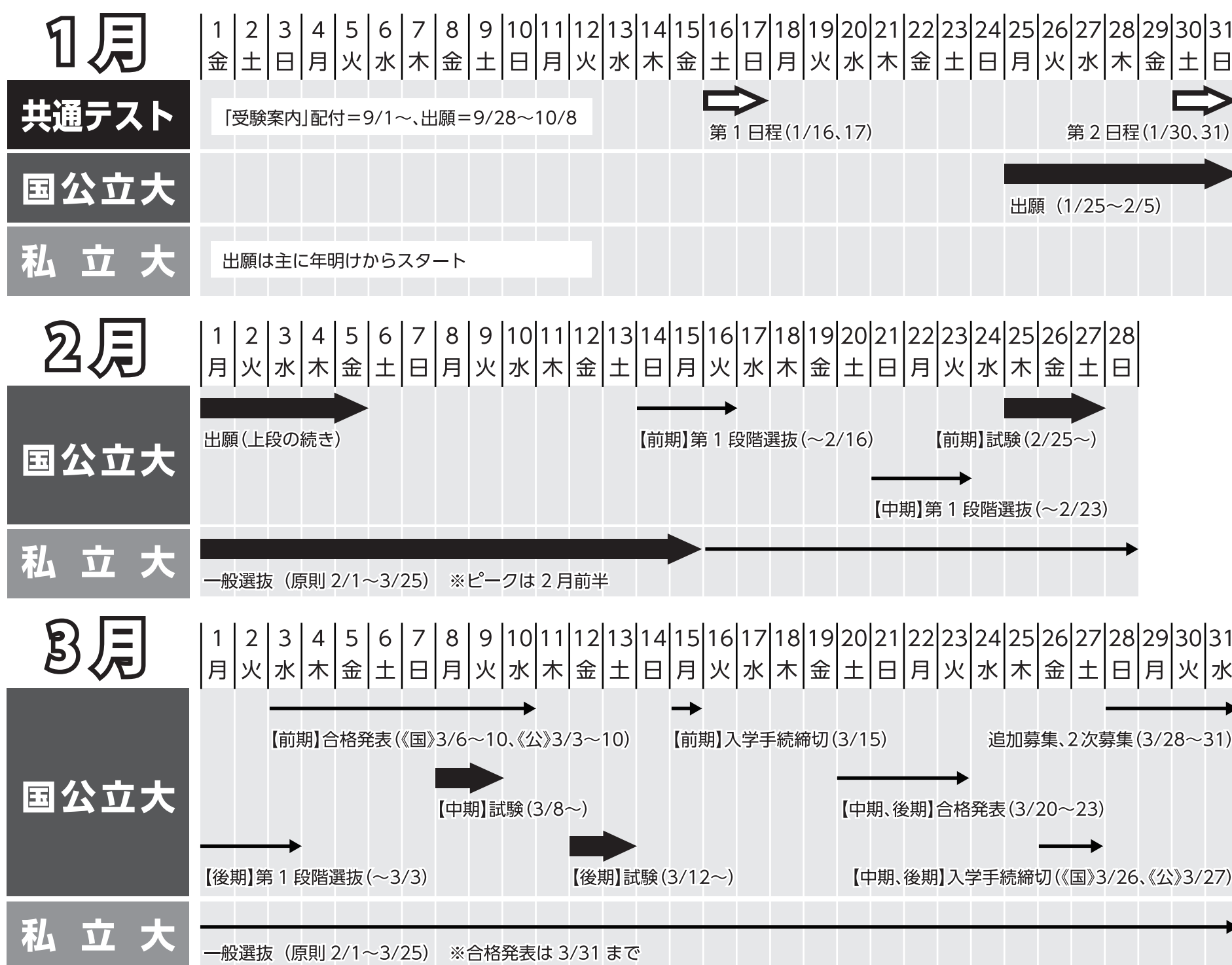


2021年大学入試 一般選抜スケジュール



新型コロナの影響で、2021年の共通テストは「第1日程」か「第2日程」を選べるようになった。
一般選抜のスケジュールをよく理解して、「第1」「第2」を慎重に選ぼう。



※共通テスト「第1日程」「第2日程」は正式名称ではない。 ※上記表は公立大の独自日程は除く。 ※矢印の示す期間は一部目安。太矢印は特に重要なもの。
 ※共通テスト「特例追試験」は2/13、14(「第2」が病気等で受けられなかった場合の追試)。この場合、国公立大の出願は2/15～18。第1段階選抜も一部異なる。
 ※各大学の個別入試が新型コロナに罹患するなどして受けられなかった場合、「国立大＝原則追試(3月末実施)」「公立大＝原則追試(実施日は大学による)」「私立大＝振替、追試など大学による(振替が多い見込み)」。

「第2」のメリット & デメリット

- ※「第1」「第2」の選択は、共通テスト出願時(9月末)に行う。その後の変更は不可。
- ※「第2」の対象は原則、現役生、かつ新型コロナによる学校休業で、学校長が「学業の遅れ」を認めた者。

「第2」の メリット

- 「第1」より2週間の学習時間が得られる。
- 初の共通テストの問題を「第1」で見てから試験に臨むことができる。

「第2」の デメリット

- 試験会場が近くに設置されないかもしれない(全都道府県には設置)。
- 以降の入試日程が非常にきつい(翌日の2/1から私立大入試がスタート、国公立大の出願締切もすぐ、2次対策の期間も短くなる)。
- 万が一、「第2」の試験当日、病気やケガで受けられなかった場合⇒共通テストの「特例追試験」を受けることに⇒入試日程はさらにタイトかつイレギュラーに。
- 現段階では予備校等が「第2」も自己採点集計を行うのかわからない。